

Market Watching

発表日:2019年6月24日(月)

米中に歩み寄りの余地はあるのか(マーケットウィークリー)

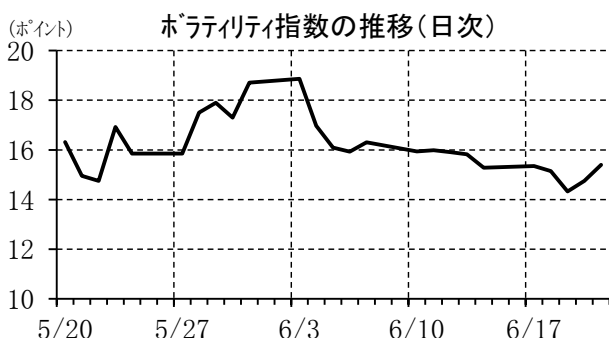
～7月早々にも追加関税引き上げのリスクも～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL:03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
6月17日(月)	米国:NY連銀製造業景気指数(6月)	▲8.6	+12.0	+18.0	
6月18日(火)	米国:住宅着工件数(5月)	126.9	124.0	123.5	万件
6月19日(水)	日本:貿易統計(5月)・輸出	▲7.8%	▲8.4%	▲2.4%	前年比
	・輸入	▲1.5%	+0.9%	+6.5%	前年比
	・貿易収支	▲9,671	▲12,060	+568	億円
	米国:FOMC・上限金利	2.50%	2.50%	2.50%	FF金利
	・下限金利	2.25%	2.25%	2.25%	FF金利
	ブラジル:金融政策委員会	6.50%	6.50%	6.50%	政策金利(Selic)
6月20日(木)	日本:日銀金融政策決定会合・政策金利	▲0.10%	▲0.10%	▲0.10%	日銀当座預金残高金利
	・10年債利回り操作目標	0.00%	0.00%	0.00%	10年物国債利回り
	台湾:金融政策委員会	1.375%	1.375%	1.375%	公定歩合
	フィリピン:金融政策決定会合	4.50%	4.25%	4.50%	翌日物リバースレポ金利
	インドネシア:金融政策決定会合	6.00%	6.00%	6.00%	7日物リバースレポ金利
	ルウェー:金融政策委員会	1.25%	1.25%	1.00%	中銀預金金利
	英国:金融政策決定会合	0.75%	0.75%	0.75%	翌日物貸出金利
	米国:フィテラルフィア連銀製造業景況感指数(6月)	+0.3	+10.5	+16.6	ポイント
6月21日(金)	日本:全国消費者物価指数(5月)・総合	+0.7%	+0.7%	+0.9%	前年比
	・除生鮮食品	+0.8%	+0.8%	+0.9%	前年比
	ユーロ:PMI製造業景気指数(6月)	47.8	48.0	47.7	ポイント
	米国:中古住宅販売件数(5月)	534	530	519	万件
6月22日(土)	—				
6月23日(日)	—				



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	2.054	▲2.6	▲48.6	▲76.9	1.964	2.208	2.511
日本	-0.170	▲3.5	▲12.0	▲20.5	-0.105	-0.069	0.008
ドイツ	-0.285	▲3.0	▲22.2	▲62.0	-0.204	-0.067	0.163
豪州	1.280	▲9.0	▲35.4	▲139.3	1.473	1.718	2.175
株価							
NYダウ	26719.13	+2.4	+3.3	+9.2	25789	25989	25393
日経平均	21258.64	+0.7	▲0.1	▲6.3	21046	21489	21575
ユーロSTOXX50	3466.92	+2.6	+2.4	+1.9	3372	3400	3265
上海総合	3001.98	+4.2	+3.3	+4.4	2893	3023	2795
為替相場							
ドル/円	107.29	▲1.2	▲2.9	▲2.3	108.78	110.32	111.15
ユーロ/円	122.02	+0.3	▲1.1	▲4.4	122.13	123.97	126.17
豪ドル/円	74.31	▲0.4	▲2.3	▲8.3	75.33	77.46	79.03
ユーロ/ドル	1.1369	+1.4	+1.9	▲2.0	1.123	1.124	1.135
商品市況							
WTI	57.43	+9.4	▲8.8	▲12.4	55.67	59.86	58.59
金	1396.2	+4.2	+9.7	+10.2	1319	1300	1272

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (6/17~6/21) の金融市場は、注目された FOMC を受けて、次回 FOMC での利下げの可能性が高まったとして、米国を中心に金利が世界的に低下した。また、これを好感して株式市場は堅調に推移した。ドル/円相場は、米金利低下を受けて 1 ドル=107 円台に突入した。

今週のマーケットは、米利下げ期待の高まりによるやや浮ついたマーケットは一服し、米中関係や景気の減速度合いに再び注目が集まってきた。週末に G20 サミットを控えるが、なかでも中朝首脳会談によって、北朝鮮側の動向という手土産を持つことでなんとか実現にこぎ着けた米中首脳会談に注目が集まる。もっとも市場の関心は北朝鮮動向ではなく、通商交渉。歩み寄りが見られなければ、7 月からの関税引き上げもあり得る。交渉の狙いが貿易不均衡というよりも安全保障的な側面が大きいことを勘案すれば、楽観的な見通しは立てにくい。うまくいかなかった場合、関税の引き上げ措置が行われていない約 3000 億ドル分の商品のうち何が対象となるのか、一気に 25% 引き上げられるのかどうかといった点が市場の関心となる。経済指標では、日本では鉱工業生産など主要月次指標の発表が集中する。実態としては若干潜った状態で推移しているのが日本の景気で、それを再確認するような内容が見込まれる。米国では市場へのインパクトが大きい指標の発表はないが、前週発表された地区ごとの製造業景況感はやや急低下しており、次週発表される ISM などへの警戒感が高まってきた。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
6月24日(月)	ドイツ：ifo景気動向指数(6月)	★	97.4	97.9	ポイント
6月25日(火)	米国：消費者信頼感指数(6月)	★★	133.0	134.1	ポイント
6月26日(水)	NZ：金融政策委員会	★	1.50%	1.50%	オフィシャルキャッシュレート
	タイ：金融政策委員会	★	1.75%	1.75%	翌日物レボ金利
	米国：製造業受注(5月)・耐久財	★	0.0%	▲2.1%	前月比
	・非国防資本財(除航空機)	★	+0.1%	▲1.0%	前月比
6月27日(木)	日本：商業販売統計・小売業販売額(5月)		+1.2%	+0.5%	前年比
	メキシコ：金融政策決定会合	★	8.25%	8.25%	銀行翌日物金利
6月28日(金)	日本：都区部消費者物価指数(6月)・総合		+1.0%	+1.1%	前年比
	・除生鮮食品	★	+1.0%	+1.1%	前年比
	日本：労働力調査・失業率(5月)		2.4%	2.4%	
	日本：一般職業紹介状況・有効求人倍率(5月)		1.63倍	1.63倍	
	日本：鉱工業生産指数(5月)	★★★	+0.7%	+0.6%	前月比
	日本：住宅着工戸数(5月)		94.8	93.1	万戸
	ユーロ：消費者物価指数速報値(6月)・総合	★	+1.2%	+1.2%	前年比
	・コア	★	+0.8%	+0.8%	前年比
	米国：個人所得支出統計(5月)・実質個人消費		+0.4%	0.0%	前月比
	・PCEコアフレート	★	+1.5%	+1.5%	前年比
6月29日(土)	—				
6月30日(日)	中国：PMI製造業景気指数(6月)	★★★	49.6	49.4	ポイント

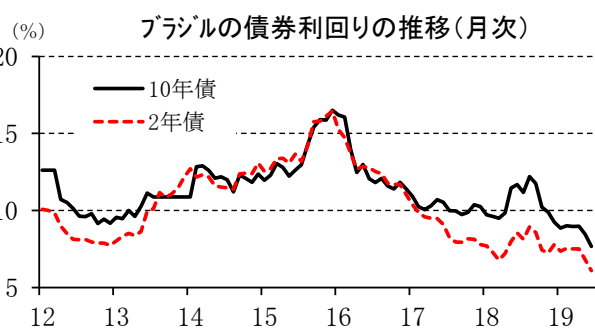
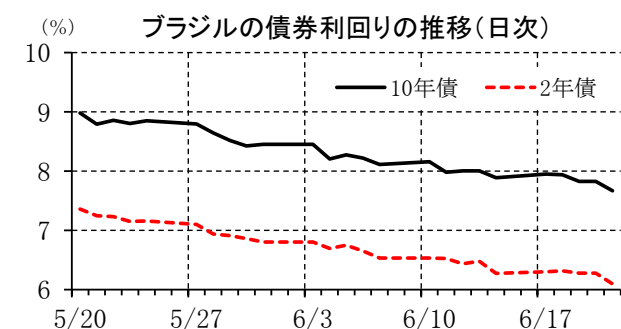
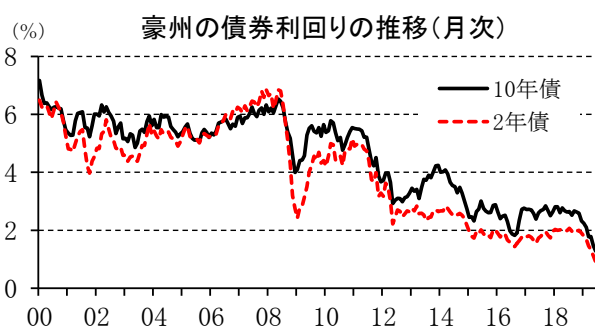
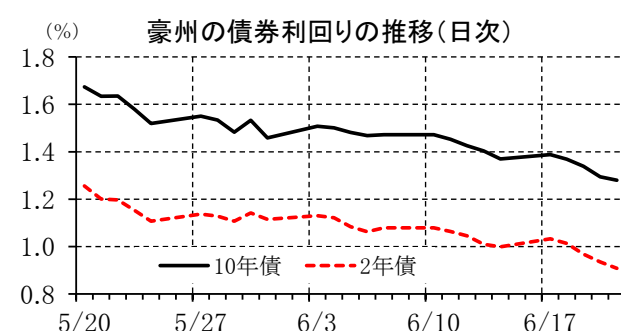
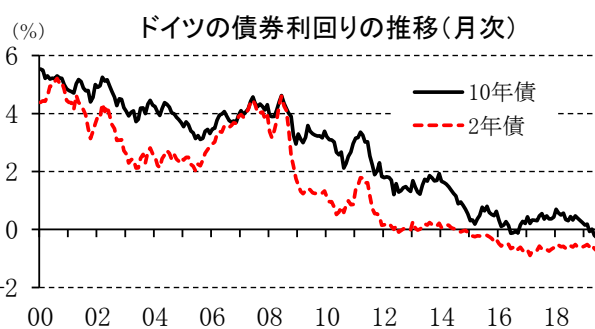
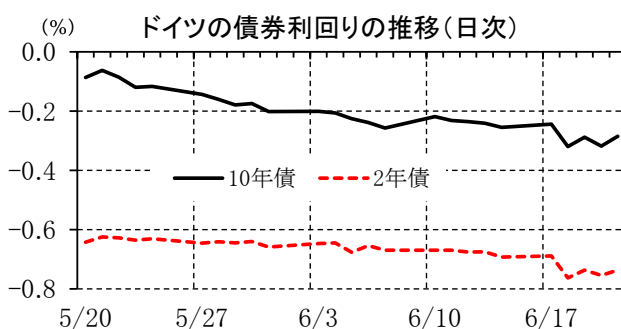
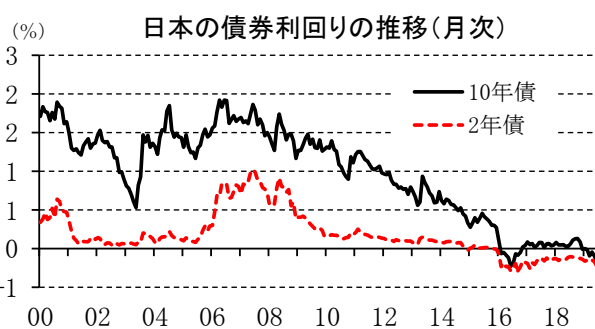
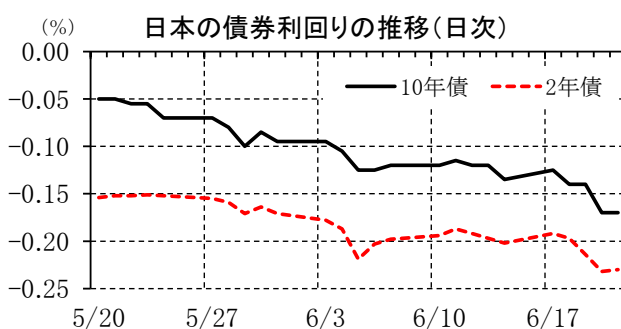
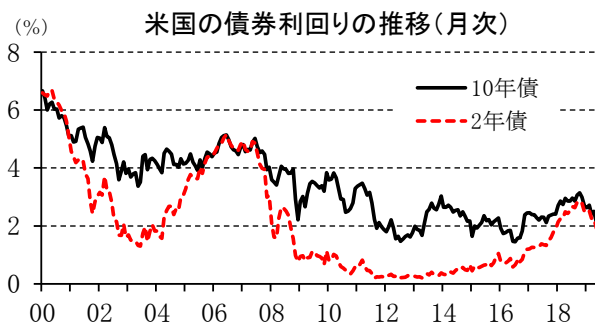
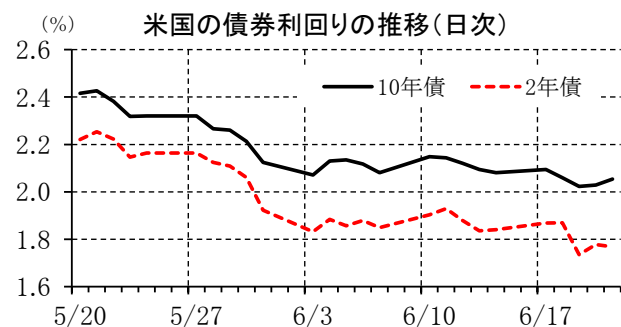
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

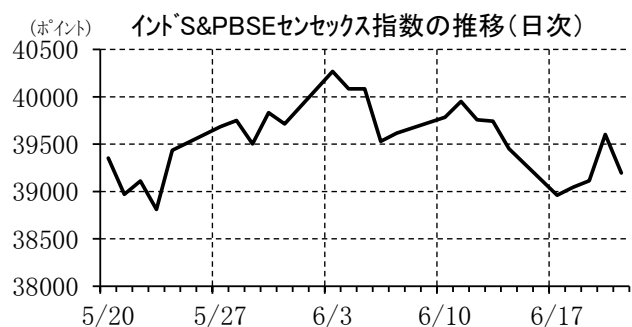
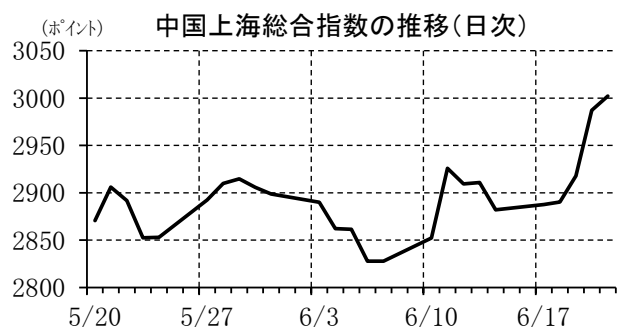
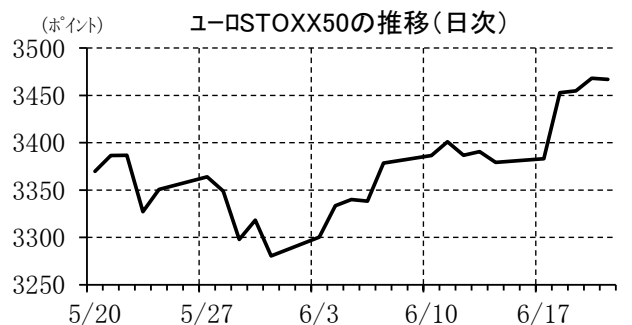
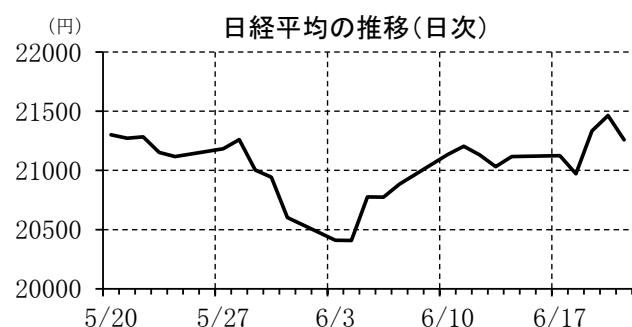
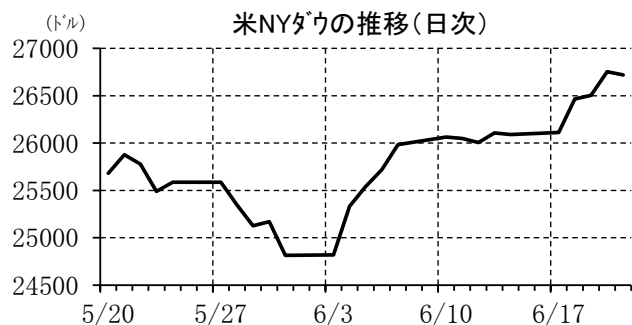
発表日	イベント	注目度	備考
6月24日(月)	米国：ペンス副大統領中国を巡る演説	★★★	
6月25日(火)	日本：金融政策決定会合議事要旨(4月分)		
	米国：NY連銀総裁講演	★	
	米国：パウエルFRB議長講演	★★★	
	米国：中国製品に科す制裁関税公聴会終了日	★★	
6月26日(水)	日本：通常国会会期末		
	OAS：米州機構首脳会合(～6/28)		
	英国：カーニーBOE総裁議会証言	★	
6月27日(木)	日本：若田部日銀副総裁挨拶	★	
6月28日(金)	日本：金融政策決定会合「主な意見」(6月分)	★	
	G20：首脳会議(～6/29：大阪)	★★	
	米中首脳会談	★★★	
6月29日(土)	—		
6月30日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

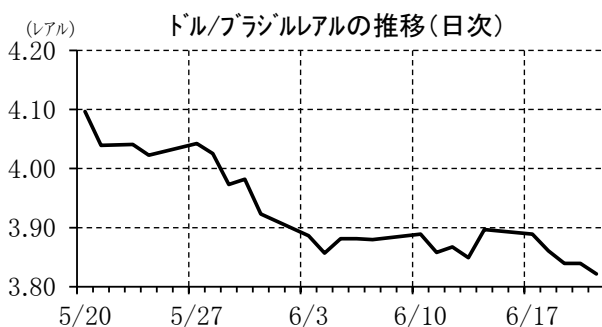
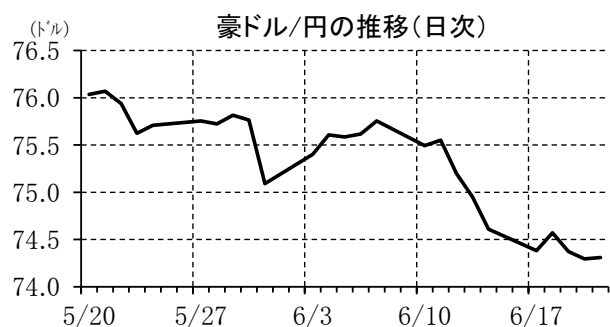
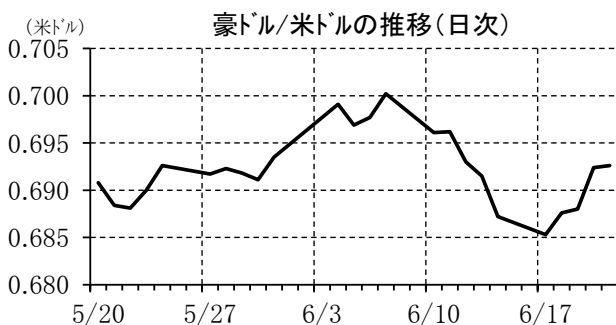
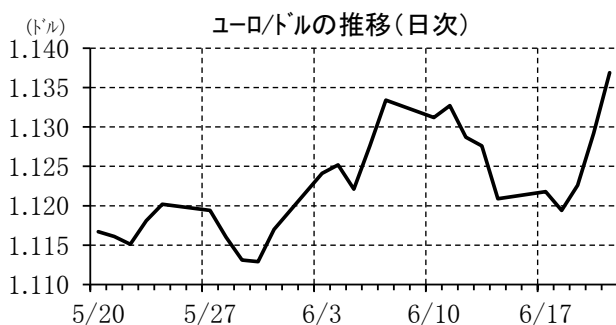
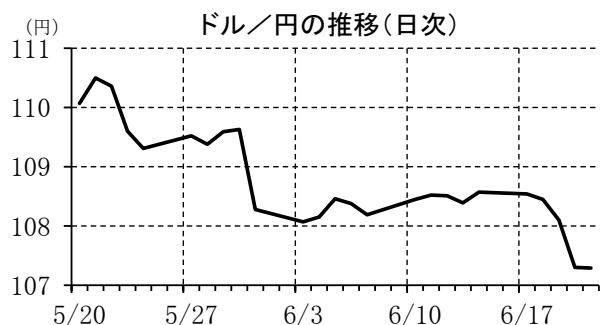
【債券利回り】



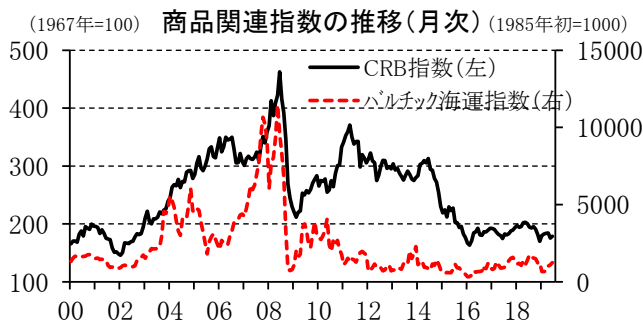
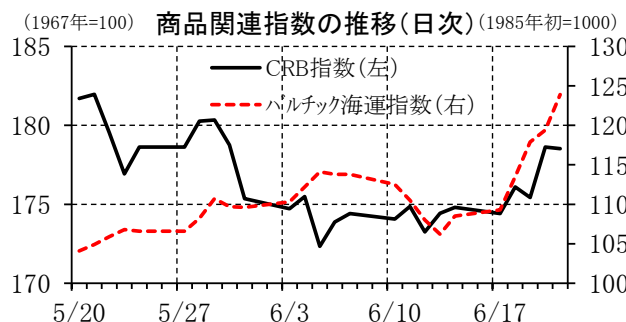
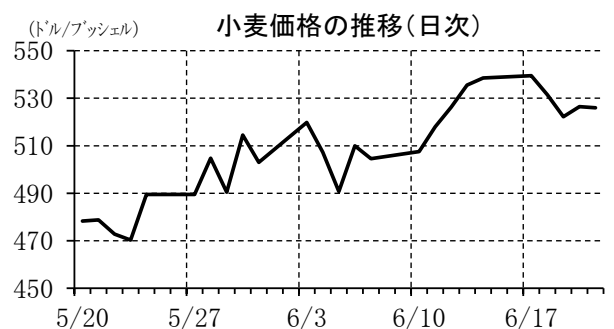
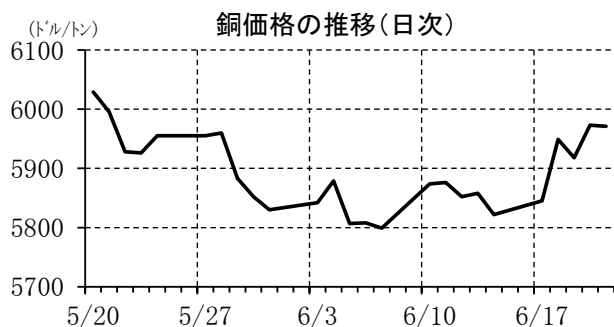
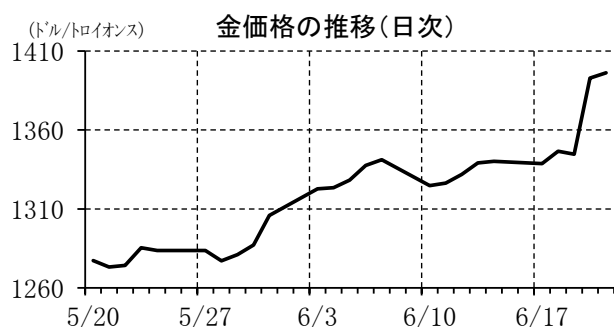
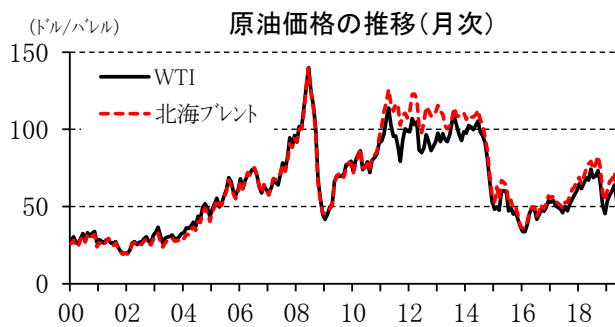
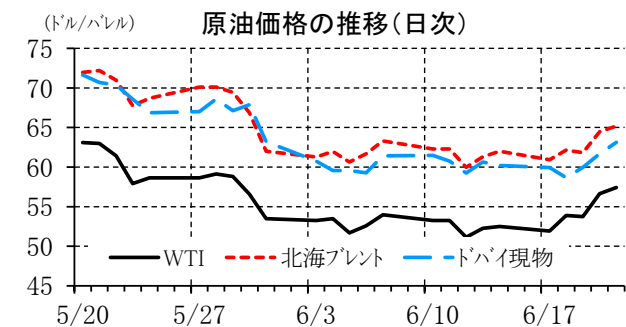
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。